



発行 日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

6月議会閉会

日本共産党・意見書5本提案 医療機関に財政的支援の意見書採択

18日(木)、6月定例市議会が討論・採決をおこない閉会しました。日本共産党は全議案に賛成し、市長提案の19件はすべて可決されました。

日本共産党「ギガスクール整備は慎重に」と指摘

一般会計補正予算で、小・中学校情報教育推進事業として、校内通信ネットワークを整備するために、3億6522万円もの多額の補正予算が可決されました。
これは、文科省の「ギガスクール構想の実現」によるもので、児童・生徒1人1台の

端末が使えるようにする、そのために、校内通信ネットワークを整備するという費用です。日本共産党は、4点を指摘して賛成しました。

①基礎学力を身に着けるうえで弊害にならないようにする。②特に小学校低学年は、基礎・基本の学習をしっかりとこなうことが大切。小学校低学年にはパソコンは不必要。③教員の多忙化に拍車をかけないこと。専門職員を配置する。④いま、特に必要なのは、少人数学級の実施、教職員増員、トイレなどの施設・設備の改修。ソフトの購入な

ど多額の予算がかかるパソコン導入は慎重に行う。

消費税5%引き下げの意見書等4件は不採択

日本共産党は5本の国への意見書を提案しました。「医療機関に対する財政的支援を求める意見書」は採択されました。しかし、他の意見書は不採択とされ、切実な市民の要求に背く結果となりました。

市長・副市長・教育長の給料3カ月減額

市長より、コロナ対策費用への充当として市長30%、副市長20%、教育長15%、3か月減額の条例が追加提案され全会一致で可決されました。なお、議員については5月臨時議会で、政務活動費50%、視察費全額の合計1467万円を削減しています。

議案	意見書	
	少人数学級の実施	消費税を5%に引き下げ
公立・公的病院の統廃合撤回	○	○
保健所の増設と機能強化	○	○
医療機関に財政的支援	●	●
市長・副市長・教育長給料減額	○	○
介護保険料・低所得者軽減	○	○
名称「八木崎保育所」に	○	○
20年度一般会計補正予算	○	○
日本共産党(6)	○	○
新政の会(9)	○	○
※未来の会(8)	○	○
公明党(6)	○	○
☆NHK(1)	○	○
無所属(1)	○	○
結果	○	○

● 棄権
○ 賛成・可決・採択
○ 反対・否決・不採択
◎ 提出会派

※前進か。未来の会
☆NHKから国民を守る党

大野とし子議員一般質問

障害のある子もいない子も共に育ちあう
複合型施設は市の直営で



6月16日(火) 大野とし子議員は、①児童発達支援センターは、市の直営で運営をについて、一般質問を行いました。

児童発達支援センターふじ学園は、就学前の障害をもつ子どもたちの療育を行う施設です。来年4月に、保育所との複合型施設として、新築移転します。

先の3月議会会で、この児童発達支援センターに指定管理者制度を導入できる条例が成立しました。

大野議員は、「療育とは、一人ひとりの特性に寄り添い、働きかけていく地道な実践であり、人の力が必要

で、時に経費もかかります。

この療育の分野に指定管理者制度を導入するなど言語道断です。支援が必要な子どもたちをしつかり支援助し、豊かな成長を保障していくのは、行政の仕事です。」と主張し、3点について質問を行いました。

人事に直接関与できない事はデメリット

一点目は、指定管理者制度を導入することへのメリットデメリットをどのようか考えているのか。

二点目は、市は、導入の理由として、民間のノウハウを生かした専門性の確保をあげているが、埼玉県内に、指定管理者制度を導入している自治体はありませ

ん。研修に参加したり、専門家も参加した会議で共通理解をしたり、専門性を育む取り組みをしています。市直営でこそ、専門性は確保できると考えますが市の認識は。

三点目は、指定管理者制度は、人事への直接の指導ができません。気持ちに寄り添うことが大切な療育において、指導者の指導が、子どもたちの気持ちに寄り添えない時、子どもたちは、言葉で意思を伝えられない分だけ、パニックを起こしやすくなります。人事に直接関われないことは大きなデメリットだと考えますが市の認識は。

福祉部長は「市の運用指針により、サービスの向上、経費節減が見込まれる施設には指定管理者制度を導入することになっていきます。移転新築するふじ学園においても、民間のノウハウやネットワークを生かし、サービスの向上が見込まれ

ると考えています。専門性の確保については、新たに重度心身障害児の療育訓練も取り入れるなど、高い専門性が必要となると考えています。

指定管理者制度は、市が示した仕様書を守ることが求められ、継続監視等で適切な管理ができると考えています。」と答弁しました。

障害のある子もいない子も共に育つ保育を

大野議員は、市が複合型施設建設に際し、障害のある子もいない子も共に育ちあう保育を行っていききたいと提案したことを紹介し、すばらしい理念実現のために、市長を先頭に職員が一丸となつて取り組むことは、行政の責任であることを指摘し、児童発達支援センターを含めた複合型施設は、市が直営で行うことを強く求めました。

市立医療センター ☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119

- 6/ 28 (日) みどり内科医院 (内科系) 緑町4-13-25 ☎745-5000 岡田医院 (小児科系) 一ノ割2-6-21 ☎735-7848 梅原病院 (外科系) 小淵455-1 ☎752-2152
- 7/ 5(日) 花川内科クリニック (内科系) 中央3-8-2 ☎752-3378 ゆりのき医院 (小児科系) 谷原1-16-20 ☎752-3535 いかわ耳鼻咽喉科医院 (外科系) 大倉378-4 ☎746-8733

休日当番医